



三越銀座店長

NEWS LETTER ④ 三越伊勢丹支部 銀座分会

SPECIAL
2024

三越銀座店長の山下賢二さんインタビュー、第四回は「キャリアの変遷～若手時代～」です。

キャリアの変遷～若手時代～

入社後の配属は松戸店婦人服でした。TVドラマの「デパート夏物語」で相模原店は認識していましたが、入社前の勉強不足で松戸店はよく知らず(笑)。入社から6年間、担当も異動もなく松戸店婦人服でしたが、結果的にはとても良い経験だったと思います。何故なら打算的な考え方ですが、同じ同期でも例え



ば新宿店配属になると朝から晩まで残業するほどの仕事量とスピードのプレッシャーの中で日々働いており、松戸店はどちらかと言うと仕事量もスピード感もそれほどプレッシャーはなく、同期、先輩や後輩、そしてお取引先の方々とのコミュニケーションの時間(飲んだり、飲んだり)を作れて業務以外でもエンジョイできる生活を送ることができました。若手時代の仕事といえば平日はほぼストック整理と納返品品の検品業務、そしてバーゲン初日や土日はエスカレーター前でひたすらお買い得品の呼び込みでした。裏仕事よりそこでのお客様と接客?というか世間話をするのも楽しみながら呼び込みをしていたことをよく覚えています。

ただ松戸生活も3年、4年経過すると自分の経験として別の店舗も味わってみたいと思うようになりました。なかなか自己申告はすぐには叶わないとも知りました。

7年目で婦人服の中では最も激務と言われていた新宿店2階の婦人ヤングスポーツABに異動になりました(冷や汗)。単品編集平場は業務量も多くかつスピードも速く支店育ちの私はスピード感もなく、基本的な知識も経験も不足していたためこの異動はまさに逆境の場でした。本当にそこでのAB業務が激し過ぎて、このままでは身がもたない!と思い、ABを脱出するために死ぬ気でHAPの勉強をしましたことを覚えています(笑)。今思えば編集平場で商品分類から展開分類、仮説を立てて商品選定、発注、いつ、どう展開してどう売上を作るか?の基礎を徹底的に学ぶことができました。また毎週月曜日に週の仮説を立て展開商品を決定し(先週の動向から入替商品を定める、在庫確認など)、店頭展開図面をスタイル別に落とし込む。水曜日の立上げの売上動向から土日に向けて何をどう修正するか?在庫をどれだけ積むか?と52週続くスピーディーな商売も私にとっては未経験でした。マーチャндаイジングを廻す基礎がこの1年間に凝縮された正に逆境=教育環境の場となりました。結局、翌年何とかABを脱出してバイヤーとなれましたが、また違った逆境が待っていました(苦笑)。

～第五回、「ステージB時代」に続く

登録すると
最新情報が届
くうさよ!



<イングちゃん>
IMGU公式
 Mascotキャラクター



組合viva
コミュニティ



LINE

連絡先:
労働組合新宿事務所
銀座分会担当:小松



このレターは
組合HPからでも
見れるうさよ!



連絡先:
労働組合新宿事務所
銀座分会担当:小松